

社会学で 扱えないテーマはありません



詳細はホームページで!
<http://www2.lit.kyushu-u.ac.jp/socio/>

学部生 卒業論文題目

◎ 2010年3月(2009年度)卒業生 14名(女性14名)

- ・「きんしゃいきゃんぱす」の仲間集団に関する研究 —その社会化機能と成功要因に着目して—
- ・ゆとり教育がもたらした若者の社会性への影響 —ゆとり教育が与えた影響の検証と問題点の考察—
- ・CD 売上における音楽配信の影響
- ・ライブイベントとしての就職活動 —その社会学的考察—
- ・インターネットにおける知的財産権の行使と非行使
- ・大学生の職業選択における理想と現実的制約
- ・ホークス私設応援団「あぶさん会」の社会学的研究 —「リリーフ」機能の発見—
- ・大澤ナショナリズム論の解読と応用 —韓流ブームへの適用と解明—
- ・ワークライフバランス形成の要因分析 —1人の金融マンを事例として—
- ・〈ソーシャルアントレプレナー〉の出現と展開 —学生12人の事例より—
- ・農産物直売所の観光志向に基づく類型化
- ・結いのムラ:奄美大島湯湾集落の社会学的研究 —居住条件不利地域の居住有利性—
- ・大学生の寄付行為における公共意識の影響
- ・福岡市学童保育:学年拡大の社会実験 —福岡市立飯倉中央小学校留守家庭子ども会の事例から—

◎ 2009年3月(2008年度)卒業生 14名(男性4名、女性10名)

- ・観光システムにおける世界遺産登録の役割と機能
- ・労働市場における社会的排除の影響
- ・一般廃棄物の有効なリサイクルに向けた中・日・独 政策形成過程
- ・葬祭業における宗教間比較分析 —葬祭業者と仏教の結びつきに着目して—
- ・地域社会における子どもの「居場所」に関する社会学的考察 —福岡市東区箱崎「きんしゃいきゃんぱす」の事例から、「ナナメのかんけい」に着目して—
- ・まちづくりにおける建築再生の可能性を考える
- ・小説世界にみる〈癒し〉と〈再生〉の社会学 —よしもとばななの作品を題材に—
- ・地域振興に向けた協働の場づくり —福岡市美野島地区の事例から—
- ・きょうだい構成が集団内役割意識に及ぼす影響 —親との関係性、性別の2つの観点から—
- ・生涯スポーツの現状と問題点
- ・高齢者の「住み替え」に関する現状と課題 —居住支援事業の展開—
- ・中高生にみる将来観の進学意欲・学習態度への影響 —受験競争の原因と問題の探求—
- ・社会学的観点からみた福岡市の地域猫活動 —福岡市地域猫活動の現状と課題—
- ・大学生の印刷物と電子メディアに関する選好

卒業生の就職先・進路

●2010年3月(2009年度)卒業生

福岡県庁、損害保険ジャパン、東芝、佐賀市役所、福岡市商工会議所、NTTデータアイ、富士通エフ・アイ・ピー、オアシスソリューション、福岡市役所、西日本新聞社、鹿児島県庁、九州大学大学院

●2009年3月(2008年度)卒業生

くらコーポレーション、三技協、NTTデータ東京SMS、中部電力、NTTデータ、JA福岡、西日本シティ銀行、西日本新聞社、TOTO、北筑前養護学校、東芝、RKKコンピューターサービス

●2008年3月(2007年度)卒業生

RKB毎日放送、福岡国税局、九州大学大学院、中部電力、西日本シティ銀行、安川情報システム、Google、大阪読売広告社、福岡国税局、ニトリ、旭化成、日経リサーチ、KKB鹿児島放送

大学院生 修士論文題目および修了生の就職先・進路

●2010年3月(2009年度)修了生 2名(女性2名)

- ・水辺環境ボランティア団体の中日比較分析 —「威海市大白鳥保護協会」と「和白干潟を守る会」の調査を通して— …………… ハルビン工業大学(中国)
- ・インドネシア人看護職・介護職の日本への受け入れの過程に関する社会学的研究 …………… 九州大学大学院(博士後期課程)

●2009年3月(2008年度)修了生 1名(女性1名)

- ・「箱崎における“絆”の社会学的考察」 …………… FBS(福岡放送)

●2008年3月(2007年度)修了生 4名(女性4名)

- ・農村高齢者の社会参加と主観的幸福感 —熊本県山鹿市志々岐における質問紙調査— …………… NTTデータ
- ・大連市における「家庭養老院」の現状と課題 —日本高齢者福祉からの示唆と考察—
- ・産業廃棄物処分場紛争と今後の方向性 …………… NTTデータ
- ・シンガポールと香港における「新しい労働運動」

社会調査士の資格取得について

社会調査士資格取得のためのカリキュラム

新聞社による世論調査、政府による国勢調査をはじめ、企業による市場調査、地方自治体による実態調査や意識調査など、社会調査はさまざまな分野で行われており、現代社会を理解するために不可欠な手段となっています。

このような情勢をふまえ、社会調査に関する資格認定の必要性が高まり、2003年11月に、財団法人社会調査士資格認定機構(日本社会学会、日本行動計量学会、日本教育社会学会の3つの学会を母体とする財団法人)が発足し、2008年12月からは一般社団法人社会調査協会としてあらたな体制に移行しました。資格には、学部レベルの社会調査士資格と、大学院レベルの専門社会調査士資格があります。

学部レベルの社会調査士資格は、一般社団法人社会調査協会による認定資格で、社会調査に関する基礎的な知識や技能を身につけた人に認定される資格です。

九州大学における社会調査士資格認定者数

・2010年度	14名
・2009年度	10名
・2008年度	17名
・2007年度	19名
・2006年度	11名
・2005年度	4名
合計 75名	

お問合せ先



九州大学
大学院人間環境学府 共生社会学講座
文学部 社会学・地域福祉社会学研究室

社会学研究室事務

〒812-8581
福岡市東区箱崎6丁目19番1号
TEL:092-642-2426

パソコン



九州大学 文学部 社会学

検索

<http://www2.lit.kyushu-u.ac.jp/socio/>

モバイルサイト



<http://www2.lit.kyushu-u.ac.jp/socio/m/index.php>

メール



socadm@lit.kyushu-u.ac.jp

詳しくはWEBで検索!